

令和4年度水産分野におけるスマート・デジタル推進プロジェクト
デジタル水産業戦略拠点検討会 第2回

日時：令和4年9月28日(水)

13時00分～15時00分

場所：水産庁8階中央会議室

(東京都千代田区霞が関1丁目2番1号)

議 事 次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 「デジタル水産業戦略拠点」で扱うデータに関する

考え方について

(2) デジタル水産業戦略拠点選定の要件の整理

(3) デジタルツール等の効果と課題及び戦略拠点における

活用方策

(4) その他

3 閉 会

デジタル水産業戦略拠点検討会 第2回
配布資料

■配布資料

【資料1】検討会議事次第

【資料1-1】配布資料

【資料1-2】出席者名簿

【資料2】第1回検討会振り返り

【資料3-1】水産分野におけるデータ利活用ガイドラインとは？

【資料3-2】水産分野におけるデータ利活用のための環境整備に係る有識者協議会について

【資料4】デジタル水産業戦略拠点選定の要件（素案）

【資料5-1】デジタルツール等の効果と課題及び戦略拠点における活用方策

【資料5-2】デジタル化の取組例におけるツール活動の効果・課題

デジタル水産業戦略拠点検討会 第2回
出席者名簿（敬称略）

○検討会委員

国立大学法人 東京海洋大学 特任教授 中泉 昌光
一般社団法人 大日本水産会 漁政部総務課長 竹林 徳太郎
全国漁業協同組合連合会 信用・組織指導部長 新塘 博文
全国水産加工業協同組合連合会 業務部 下村 武
一般社団法人 全国海水養魚協会 専務理事 中平 博史
株式会社 日本政策金融公庫 農林水産事業本部融資企画部長 齋藤 佳子
農林中央金庫 営業第五部長 加藤 剛
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校 准教授 松本 浩文
株式会社 SJC 常務取締役 大友 俊一
一般社団法人 漁業情報サービスセンター システム企画部長 齋藤 克弥

○事務局

・水産庁

漁政部企画課 課長 山里 直志
増殖推進部研究指導課 課長補佐 金子 貴臣

・凸版印刷株式会社

情報コミュニケーション事業本部担当課長 永野 武史
情報コミュニケーション事業本部 松井 拓麻
公益財団法人未来工学研究所 政策調査分析センター主任研究員 大竹 裕之
カタパルト株式会社 代表取締役 佐藤 浩志

デジタル水産業戦略拠点検討会 第 1 回検討会振り返り

第1回検討会振り返り

	第一回検討会での委員の主なご発言	左記を踏まえた対応方向（案）
デジタル水産業戦略拠点のコンセプトと、同拠点として備えることが望ましい条件について	<ul style="list-style-type: none"> ● 限られた経営成果を適切に漁業者に配分していく仕組みが必要 ● 拠点構想に参加する者としていない者（特に同漁業種内）のメリット・デメリットの把握が必要（費用負担等、参加した者が不利益を被らないことが重要） ● （省人化など）共通課題を抱える他地域において横展開のニーズがある ● 戦略拠点のコンセプトの下、タイプ別の拠点及びその条件を設定できると幅が広がる ● サプライチェーンが漁業者、産地市場、加工業、流通業等の3つもしくは4つをつなぐ仕組みを拠点のキーワードにできる ● 漁協単体で縦と横をつなぎ、さらに港から港へ展開することが重要 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 漁業者にとって利益を可視化できる仕組みの検討 ➤ 拠点参加者のメリット・デメリットの整理 ➤ 他地域との共通のニーズの把握 ➤ 横展開できるツールの整理 ➤ 拠点内・拠点外の参加者の巻き込み方法の検討
水産分野において利用可能で、かつ有用なデジタルツールとデジタル水産業戦略拠点における活用方策について	<ul style="list-style-type: none"> ● データの蓄積には提供者側の漁業者のインセンティブが重要（例えば漁業者の関心事項である漁獲物の価格について把握できる等） ● 漁獲成績報告書のクラウド管理による効率化（現在は各社で活用し共有されていない） ● 情報の見える化だけでなくAIを活用し、どのように省力化していくかが重要 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 漁業者のデータ提供に関するインセンティブを明らかにする ➤ 漁業に関する既存の事務処理の効率化・省力化 ➤ AIを使用した省力化事例の共有 ➤ AI等により代替可能な作業、人手が必要な作業の整理
水産分野において利用する各種データの取扱いに関する留意事項について	<ul style="list-style-type: none"> ● データの共有においては、沖合に行くほど他県との関係等の制約が増加する点が課題 ● 船上段階での魚のサンプル画像の仲買人への提供など、情報提供については買ったとき等が起きないように有効な情報流通範囲を確認 ● 漁業者からのデータの提供については、半数以上が参加すると皆が参加するようになった 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 情報提供範囲の整理